

なり、自主的でなく依頼性が強い。

これらは代表的な性格面から述べたのでありますが、このほか
に技術面においても、音楽の好きな教師、絵画のすきな教師、リ
ズム遊びの好きな教師とそれぞれ、得手不得手があると思いま

す。教師の好ききらいが、長い間には幼児に影響してきているとい
つも感じております。
私どもはよりよき教師になるように、自分自身をみがいてゆかな
ければ幼児に思いがけない汚点をつけたり、ゆがめた性格を植えつ
けたりするのではないかと思います。(岡山・伊島幼稚園長)

本園の組編成



× × ×

小島 文雄

他の勤労家庭の子どもであります。

本園の施設

園地 三六一坪、運動場 一八〇坪

園舎 一四四坪

内訳 保育室六室(三室はテラス付) 約六〇坪

遊戯室一室 三五坪

その他 四九坪

本園は人口約八万の小都市にあり、市内には、幼稚園が国立一
(大学付属)、公立一一(小学校付設)、私立六、保育所が公立四、
私立三、その他児童厚生施設二、の計二七施設があります。最近
合併した周辺地区を除くと、小学校就学児の一〇〇%がこれらの
施設を経ています。

本園は市の繁華街から離れた静かな住宅地にある、寺院と併立
する学校法人の私立幼稚園で、園児の大部分が会社員、工員、そ

組の編成

定員一八〇名を六組に分けて、次の表のようにします。

計	赤	青	黄	花	月	雪	組名		備考
							年令	年令	
七二名					一三 年六 経験 児名	二 年六 経験 児名	五 才 児	年 長 組	
七二名			新三 入六 園 児名		一三 年六 経験 児名		四 才 児	年 少 組	
三六名	新一 入六 園 児名	二 入〇 園 児名					三 才 児	最 年 少 組	
					青・赤組 りあがる		花組 より あがる		

組分け編成の方針

- 一、年令別によること（幼稚園設置基準第四条）。
- 一、経験年数別によること。

本園には三か年保育児と二か年保育児の二通りがあるので、その経験段階に応じた教育方針をたてる必要があります。一か年保育は、市内の各小学校付設の幼稚園がすべて一年制であるため、さほどその必要がないので、いたしておりません。

しかし年長組になると、二年保育児と三年保育児との区別をそれほど重要視する必要がないと思われるので、時には混合する場

合もあります。

最年少組の青・赤組については、一応生まれ月の早いものから順に組分けしますが、近所のお友だちなどを考慮して必ずしもこれを固守しているわけではありません。

三才児組の保育室は他の組の保育室から出来るだけ離れた位置にあるところ、便所に近いところなどと、配置上の考慮をしております。殊にこの組の保育室は家庭的雰囲気をも十分にとり入れていくようにつとめております。

担任教諭について

人には性格の面において、長所・短所があるし、仕事の技術の面においても、得手・不得手があります。教師の場合、それが白紙に近い幼児に強く影響することは言うまでもないことと思います。幼児の円満な人格形成を期するためには教師自身の自覚が必要であるし、更に組編成の場合の担任教諭を考慮することは、なおのこと重要であると思います。

本園では、原則として、二年以上継続して担任することは、特別の場合を除いて、しないこととしております。各々の教師の長所短所をよく考慮して、これをお互いに補いあうよう一年ごとに担任をかえております。

しかしこの方法は、個々の子どもを深く知り、その指導方針をた

てる意味において欠点があると思われます。この欠点を補うために、引継ぎの事前事後において関係教師が十分に話し合いをする機会を持つこと、また平素から他の組の園児との接触を多くすることを心がけております。ことに園長、主任教諭は、園児全体の性格を十分に知っておいて、担任教諭の指導に当ることとつとめております。

入園募集について

入園決定につきましては、テスト、抽籤、紹介などいろいろな方法があると思いますが、本園では申込順により決定しております。本年度の募集人員は、三才児三六名、四才児三六名の計七二名ですが、毎年一二〇名前後の希望があり、三十余年の歴史と

新年度への体制



永山 暁 美

毎年、新年度を迎える頃になると、私どもの幼稚園では、どう
いう組織になるだろうかということが最大の関心事になりま

寺院併立の幼稚園という立場から、定員厳守も困難なところがあります。また組の編成上の原則実施が、園児の大学付属、公立幼稚園への異動によって、実際上はなかなかむずかしい現状であります。また現在、園児定員を一八〇名としておりますが、設置基準にてらすと、一六〇名以下としなければなりません。三十六年度までに施設拡張、または定員減少のいずれかを考慮しなければならないのです。

毎年、組の編成と担任教諭の決定については、園長のもっとも苦心をするところであり、これがまた、その年の教育の成果いかんにかかわる重要な鍵となっております。

今後も更に検討して、よりよき教育の成果をあげるべく、深き考慮をはらっていきたいものと思っております。(広島・私立昭和園長)

す。

理想的には、三年保育児何名、二年保育児何名と、計画をたてて募集し、一貫した保育計画が出来ればと思えますが、地域の現在の状態では、とても及ばないことでございます。一般に幼児期の教育の重要性が理解されていないので、就学前にひとりでも多く幼稚園生活を経験させてやりたいという意味で、希望者は、テストや身体検